

## 土器からみたふくしまの中世

飯村 均

- 1 はじめに
- 2 土器(かわらけ)からみた中世の成立
- 3 土器(かわらけ)の作り方・使い方
- 4 土器(かわらけ)分布の意味
- 5 おわりに

### 引用文献

- 会津坂下町史編さん委員会編 2017『会津坂下町史 第四巻 資料Ⅰ 考古』会津坂下町
- 飯村均 2009『中世奥羽のムラとマチ 考古学が描く列島史』東京大学出版会
- 飯村均 2015a『中世奥羽の考古学』高志書院
- 飯村均 2015b「五 遺跡からみる中世前期東北の社会」七海雅人編『東北の中世史 2 鎌倉幕府と東北』吉川弘文館
- 飯村均 2018『東北地方の物流と移動』木村茂光・湯浅治久編『生活と文化の歴史 10 旅と移動—人流と物流の諸相』竹林舎
- 飯村均 2019『東のかわらけ』論集「葬送・墓・石塔」狭川真一さん還暦記念会
- 鎌倉かわらけ研究会・科学研究費「平泉研究の史科学的再構築」(研究代表 柳原敏昭)2016『鎌倉かわらけの再検討—大倉幕府周辺遺跡一括資料の分析から—』
- 東北中世考古学会編 2003『中世奥羽の土器・陶磁器』高志書院
- 中山雅弘 2001『陸奥国における中世前期の土器窯』『中世土器研究論集—中世土器研究会 20 周年記念論集—』真陽社
- 能登谷宜康・三浦武司ほか 2013『阿武隈川上流河川改修事業 トロミ地区遺跡調査報告2 トロミ遺跡(1・2 次調査)』福島県教育委員会・(公財)福島県文化振興財団・国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所
- 柳原敏昭・飯村均編 2002『鎌倉・室町時代の奥州』高志書院
- 八重樫忠郎 2002「第五章 平泉藤原氏の支配領域」入間田宣夫・本澤慎輔編『奥羽史研究叢書 3 平泉の世界』高志書院
- 八重樫忠郎・高橋一樹編『中世土と土器』高志書院
- 吉田博行・五十嵐和博ほか 2005『陣が峯城跡—町内遺跡(陣が峯城跡)範囲内容確認調査報告書Ⅰ—』福島県河沼郡会津坂下町教育委員会

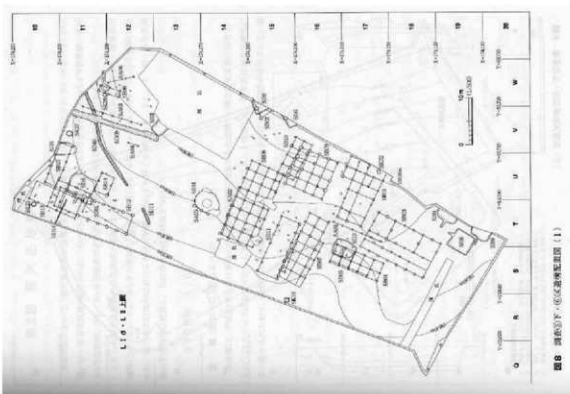


図1 二本松市トロミ遺跡遺構配置図(能登谷・三浦ほか 2013)

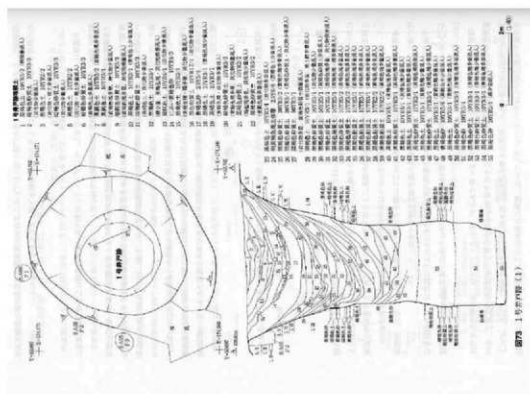


図2 トロミ遺跡 1号井戸跡(能登谷・三浦ほか 2013)

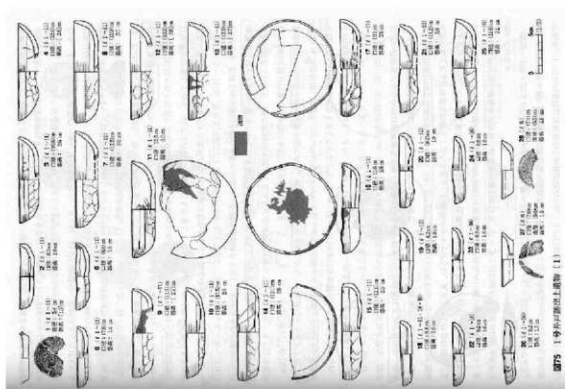


図3 1号井戸跡出土かわらけ(1)(能登谷・三浦ほか・2013)

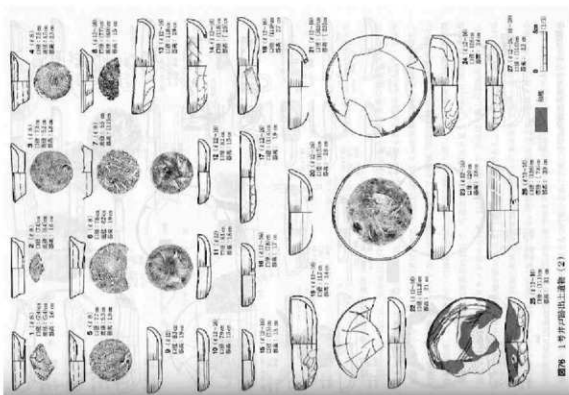


図4 1号井戸跡出土かわらけ(2)(能登谷・三浦ほか・2013)

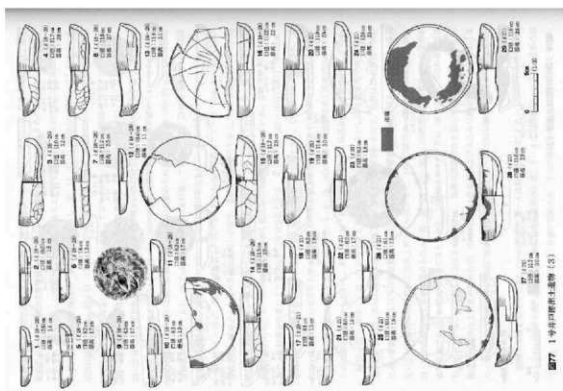


図5 1号井戸跡出土かわらけ(3)(能登谷・三浦ほか 2013)

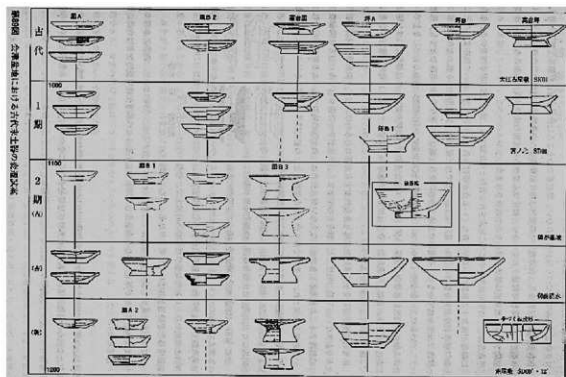


図6 会津盆地のかわらけの変遷(吉田・五十嵐ほか 2005)



図7 平泉セットの分布(八重樫 2002)

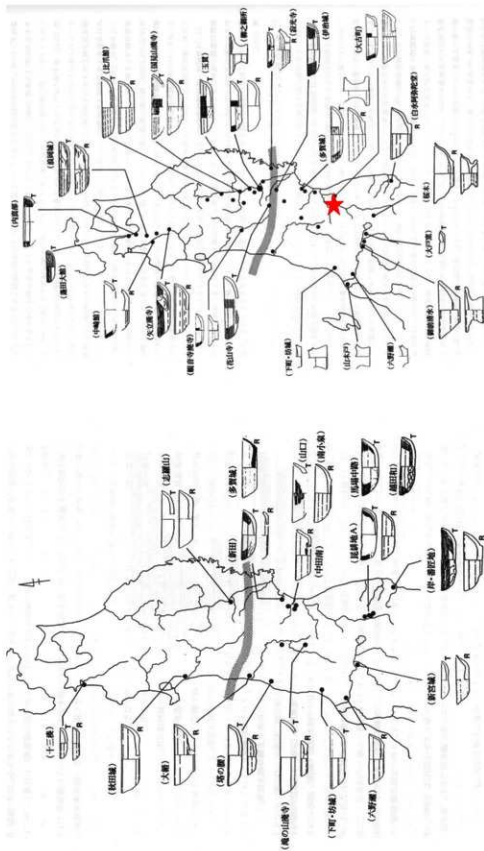


図8 奥州における12世紀と13世紀のかわらけの分布(東北中世2003)